

# Elovl6 KO mouse

～TG Resource Bank®～

**TG Resource Bank®**は、株式会社トランスジェニックが、熊本大学 山村研一教授らが開発した「可変型遺伝子トラップ法」により作製した、合計2750系統の遺伝子破壊マウスおよびES細胞バンクです。

## Elovl6 ノックアウトマウス Bank No.9017

Elovl6遺伝子は、3番染色体に存在し、5個のExonから構成されており、翻訳開始点はExon2に位置します。Bank No.9017は、5'RACE法からElovl6遺伝子のExon2下流に、トラップベクターが挿入されていることが示唆されており、トラップベクターは、loxP組換えでヒト遺伝子などに入れ換えることが可能な構造になっております。Elovl6遺伝子は、脂肪酸伸長酵素であり、肥満、脂肪肝、メタボリックシンドローム等の研究にお役立てください。



## Elovl6遺伝子ゲノム構造



5' Race 配列: Identity 97%

```
AGAGAACACGCTAGCGACTCCGAAGATCAGCCCCAATGAACATGTCAGTGT
TGACTTTACAAGAATATGAATTCGTAAGCAGTTCAACGAGAACGAAGC
CATCCAANGATGCAGGAAAACG
```

## 解析結果例

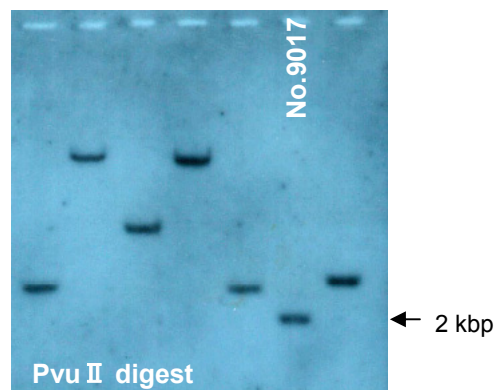
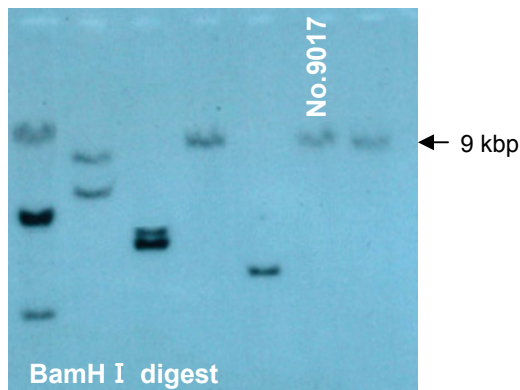
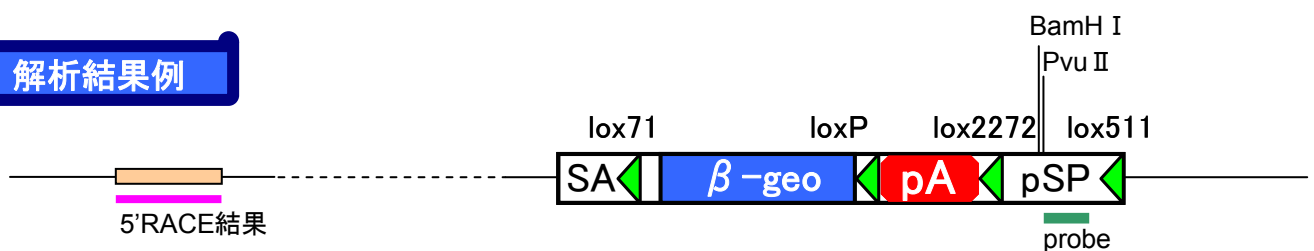
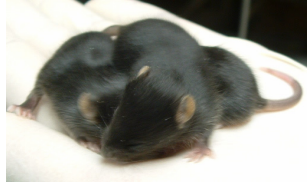


Fig.1 Bank No.9017を樹立した際のサザンプロット解析結果

## ご提供内容

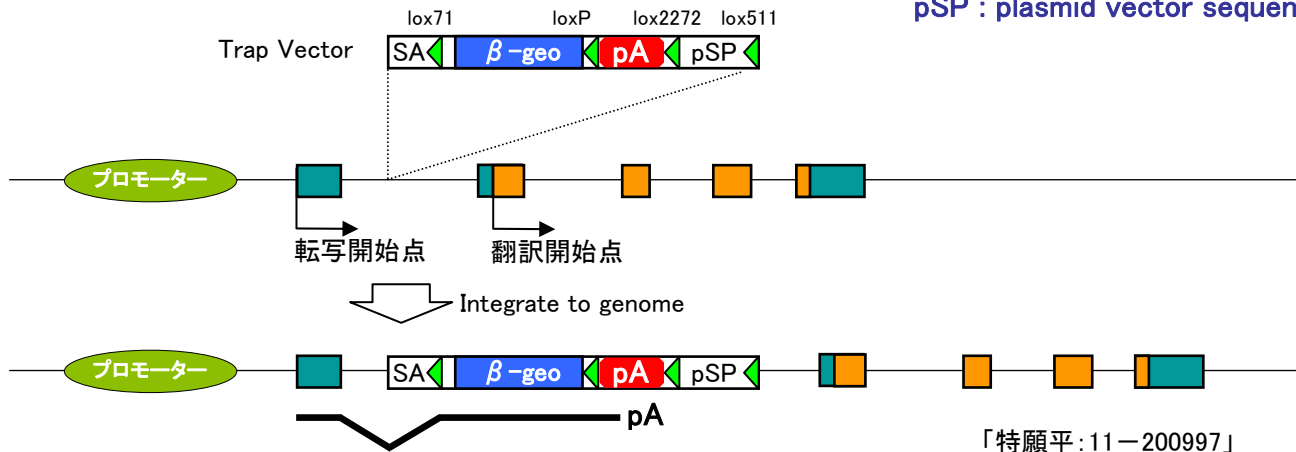
※ マウスの使用権のご提供(非独占・無期限の使用権許諾)となります。

提供物	2ブリーディングペア(ヘテロ)
納期	マウス納品 3~4ヶ月 (凍結胚の準備~マウス納品) 凍結胚納品 1ヵ月 
バックグラウンド系統	ES細胞TT2株(C57BL/6×CBA)から樹立(N2世代)。
成果(知的財産権)	ご依頼所に帰属
使用範囲	ご依頼者ならびに同研究グループの方々 (第三者への供与・販売等は不可)
返金	自社提示情報に誤りがあった場合
品質保証項目	挿入ベクター構造、5'-RACE配列

- \* お客様のマウス施設の受入れ基準や承認等を事前にご確認ください。  
受入準備が完了しませんと納品ができませんので、ご注意をお願い致します。
- \* 途中でコロニーが途絶えてしまった場合、別途費用で、再提供可能です。

## 可変型遺伝子トラップ法について

SA : Splice acceptor  
pSP : plasmid vector sequence



## 参考文献

1. Araki K, Imaizumi T, Sekimoto T, Yoshinobu K, Yoshimuta J, Akizuki M, Miura K, Araki M, Yamamura K. Exchangeable gene trap using the Cre/mutated lox system. *Cell Mol Biol.* 1999 Jul;45(5):737-50
2. Matsuzaka T, Shimano H, Yahagi N, Kato T, Atsumi A, Yamamoto T, Inoue N, Ishikawa M, Okada S, Ishigaki N, Iwasaki H, Iwasaki Y, Karasawa T, Kumadaki S, Matsui T, Sekiya M, Ohashi K, Hasty AH, Nakagawa Y, Takahashi A, Suzuki H, Yatoh S, Sone H, Toyoshima H, Osuga J, Yamada N. Crucial role of a long-chain fatty acid elongase, Elovl6, in obesity-induced insulin resistance. *Nat Med.* 2007 Oct;13(10):1193-202. Epub 2007 Sep 30.